

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
7	1				本体形状
7	1	1			タッチパネル一体型専用端末であること。
7	1	2			制御装置、表示装置、サーマルプリンタ、カード読み取り装置等を内蔵した一体型装置であること。
7	2				タッチパネル
7	2	1			投影型静電容量方式もしくは抵抗膜方式であること。
7	2	2			ほこりや傷に強く、メンテナンス性に優れていること。
7	2	3			表面形状：画面枠との段差のないフルフラット形状であること。（清掃が容易、ほこりに強い）
7	2	4			表面処理：ハードコート処理（表面硬度6H以上）であること。（傷に強い）
7	3				スピーカ
7	3	1			スピーカを内蔵していること
7	4				電源
7	4	1			省エネに配慮した製品であること
7	5				自律設置
7	5	1			外形寸法：400(W)×400(D)×1235~1350(H)[mm] 以内であること。（本体部分を含む） ※画面部分等は最大幅 440[mm]程度まで許容する。
7	5	2			装置本体と卓は固定されること。（外部から取り外しができないこと） ⇒盗難防止、本体落下防止
7	5	3			卓の内部へ保守用機器などが収納できること。（鍵付きなど盗難防止は必須）
7	5	4			転倒防止を考慮して、アンカー設置が可能なこと。
7	6				その他
7	6	1			電源ON/OFFなどのスイッチ等は、鍵付の本体内部に收容し、利用者が直接触れる事の無いようにすること。
7	6	2			電源ケーブルやLANケーブルなどのインターフェース部分は、利用者が直接触れる事の無いようにすること。（外部から取り外しができないこと）
7	6	3			保守性を考慮して、卓上/自立ともに同モデルの装置にすること。
7	6	4			障害時の調査が可能なように接続されている機器のログ（エラーなど）が採取可能なこと。
7	6	5			覗き見を防止する仕組みを有していること。
7	6	6			磁気カードリーダが内蔵されていること。（磁気タイプは、JIS1及びJIS2タイプ）
7	6	7			レシートプリンタが内蔵されていること。
7	6	8			用紙の交換（補充）は、職員にて容易にできること。
7	6	9			印字速度は、最大：300mm/sの性能を有すること。
7	6	10			指定時間に電源ON/OFFが可能なタイマ機能を有すること
7	6	11			タイマ設定は、ネットワーク接続された別の装置からの変更が可能なこと。
7	6	12			タイマーはカレンダーイメージの画面から設定でき、稼働後10年以上先までの国民の休日に対応していること。
7	6	13			利用者を検知するセンサが組み込まれていること。
7	6	14			ディスプレイは画面角度を変更できること。
7	6	15			ユニバーサルデザインとし、車いすの方にも使用できるデザインとすること。
7	6	16			再来受付機能に加え、キャッシュレス精算機能を有すること。（現金を取り扱う予定はありません）
7	7				ソフトウェア要件
7	7	1			上位システムの当日予約受付業務と同等以上の受付機能を有し、予約枠や受付番号の管理を共有すること。
7	7	2			上位システムの科歴に基づいて表示する（選択可能な）科を調整できること。
7	7	3			上位システムの保険情報をチェックし、有効な保険が無い場合にエラー画面やワーニング画面を表示できること。
7	7	4			上位システムの保険情報をチェックし、保険証の確認状態を元にエラー画面やワーニング画面を表示できること。
7	7	5			上位システムの入退院情報をチェックし、入退院状態を元にエラー画面やワーニング画面を表示できること。
7	7	6			受付時に上位システムの受付情報を更新し、受付済みのチェックも行えること。
7	7	7			予約ありの受付では、予約情報（科、予約枠、内容、予約時間）を一覧で確認してからの受付が可能なこと。
7	7	8			予約なしの受付では、診療科、予約枠、内容、時間を選択することが可能なこと。
7	7	9			診療科は最大30まで表示できること。
7	7	10			診療科は識別しやすいように【内科系】⇒【循環器科】のように代表科の選択後に詳細科を表示する仕組みが取れること。
7	7	11			受付済み、予約済みがわかるようにボタンに状態表示ができること。
7	7	12			予約枠、時間の表示スケジュールは上位システムの予約枠と連動していること。
7	7	13			一回の受付処理で最大30明細まで処理可能なこと。
7	7	14			受付票には受付日時、患者番号、カナ氏名、氏名、受付情報、ワーニングメッセージ、任意の固定文言を印字可能なこと。
7	7	15			受付票には患者番号のバーコードを印字可能なこと。
7	7	16			受付の開始、休止、終了等の運用時間を設定できるメンテナンス機能を有すること。
7	7	17			予約のみ受付可能な任意の時間帯を設定できること。また、この時間帯は予約の無い利用者にはエラー画面を表示できること。
7	7	18			画面デザインや受付票レイアウトの単純な変更はプログラムの入替えをせずに対応できること。
7	7	19			各画面ごとに音声ガイダンスの発声が可能なこと。また、音声は独自のものも組み込み可能なこと。
7	7	20			用紙切れ、ネットワークトラブルなどの障害を検知し、任意の基幹クライアントに通知するオプションを有すること。